

## 小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業実施報告書 (教育局用)

### 1 今年度の研究指定校の活動内容の成果と課題を記載してください。

#### [成果]

- ・児童生徒の職業やキャリアに関する理解を深めるため、「利尻町小中高一貫キャリア教育全体計画」及び各校の全体計画を作成し、系統性を踏まえた指導内容や指導方法を確立することができた。
- ・小中高ごとの「キャリア教育分析シート」を活用して、自校のキャリア教育の取組について分析することができた。
- ・地域の特性や教育資源を生かした学校間で連携した取組として、「キッズビジネスタウンリシリ」を開催し、商品の購買を通じて、児童生徒の望ましい職業観・勤労観を育成することができた。
- ・「キッズビジネスタウンリシリ」の取組において、高校生が小学校を訪問し、取組のねらい、働くことの意義や接客の在り方等について説明し、活動のレディネスを高めるとともに、小学生の職業観を育成することができた。

#### [課題]

- ・児童生徒の実態に応じて、校種間で系統的に育成すべき能力・態度を一層明確にし、全体計画を改善する必要がある。
- ・児童生徒のキャリア発達を支援するため、より効果的なキャリアノートの内容を工夫する必要がある。
- ・「地域未来づくり会議」を定期的に開催し、委員のアドバイスを取り入れ、児童生徒の地域への興味・関心を更に高める取組を計画する必要がある。

### 2 1の成果のなかで、もっとも評価できるものを記載してください。

- ・「キッズビジネスタウンリシリ」において、異年齢交流や接客などを通じて、児童生徒のコミュニケーション能力及び人間関係形成能力を育成することができた。

### 3 1の課題を解決させ、各取組を円滑に進めるためには、教育局として、具体的にどのような支援・方策等を実践するか（実践すべきか）記載してください。

- ・会議だけではなく、講演会の講師依頼や座談会への参加など、研究指定校と地域未来づくり会議委員の連携体制の強化を図る。

### 4 地域未来づくり会議に関する次の点について記載してください。

#### (1) 開催の成果

- ・事業の趣旨や内容を説明したことにより、学校教育関係者はもとより、PTAや地元企業等の関係者と共通理解を図ることができた。
- ・PTAや地元企業等からは、地域人材の確保や育成の観点から、思いや考えを伺うことができ、今後の事業展開の参考となった。

#### (2) 課題

- ・学校間ではもとより、地域と一体となって事業を展開することができるよう、定期的な会議の開催や通信の発行など、積極的な情報提供を行う必要がある。

#### (3) 委員からの意見

- ・少子化の影響により、固定化した人間関係にある町内の子どもたちに、実社会で生きて働く力を育成する必要がある、本事業に大きな期待を寄せている。
- ・12年間を見通した教育が行われることは大切なことであり、地域としても協力していきたい。